

女と男がともに生きる未来へ

vol.
26

step

男だからこう、
女だからこうって、
思っていない？



泉南市

➤ 男らしさや女らしさについて、クイズやチェックを読んで考えてみましょう。



クイズ「^{わたし}私の子ども」

父親と小学生の子どもが乗った自動車^{おおがた}が大型トラックとぶつかる交通事故^{じこ}が起きました。父親と子どもは大けがをして救急^{きゅうきゅう}車で病院に運ばれました。

子どもの手術^{しゅじゅつ}を担当することになった病院の外科医は、「これは私の子どもだ！」とさげびました。



外科医は子どもの A です。



A に入るのはだれでしょう。思いつく人を書いてみましょう。

※答えはうら表紙にあります。



あなたは、どう思いますか？
あてはまるものをチェックしてみましょう。

- ☐ 算数は女子よりも男子のほうが得意だ^{とくい}
- ☐ 国語は女子のほうが得意だ^{とくい}
- ☐ 重い物を運ぶのは男子がしたらしい
- ☐ 女子のほうがそうじをていねいにする
- ☐ 学級委員長は男子のほうが向いている
- ☐ リーダー^{ほさ}を補佐する仕事は女子のほうが向いている
- ☐ 男性^{だんせい}は仕事をして家族を養うものだ
- ☐ 子どもの世話は母親がするべきだ
- ☐ 消防士^{しょうぼうし}は男性^{だんせい}の仕事だ
- ☐ 保育園^{ほいくえん}の先生^{じよせい}は女性の仕事だ



ひとつでもチェックが入りましたか？
あなたがそう思うのは、いままでに
見たり聞いたりした経験^{けいけん}からそう
思うのですね。そう思うことはまち
がっていません。しかし、実際^{じっさい}には、
そうでないこともあります。
ほかにも「男だからこう、女だから
こう」と決めつけていないか考えて
みましょう。



あなたのいいところや好きなことは何ですか？

たとえば、「小さい子にやさしくできる」「大きな声であいさつする」どんなに小さいなことでもいいので、自分のいいところ、好きなことをたくさん書いてみましょう。



これからも、自分のいいところや好きなことを大切にしてくださいね。

あなたは大人になったら、どんな仕事をしたい？ 自分のやりたい仕事を見つけよう。



人を助ける仕事がしたい

せんしゅう しょうぼう じよせいしょうぼうし かつやく かなざわ ゆ み
泉州南消防組合では、7人の女性消防士が活躍しています。金沢優実さんは、
せんなん じよせいしょうぼうし かさい じ こげんば
泉南市初の女性消防士として火災や事故現場で人を助ける仕事をしています。

高校生のとき、水泳部の部活動中に部員がけいれんを起こして救急車が来ました。
そのときの救急隊員に女性がいて、私も人の命を救う消防士になりたいと思いました。
いまは消火隊と救急隊の両方で火災現場にも事故現場にも行きます。消防の原点
である「あらゆる災害から人の命を守る」という自分が思いえがいていた消防士の仕
事ができて、やりがいを感じています。

女の子も男の子も自分がやりたいと思ったことには何でもチャレンジしてほしい
です。どんな仕事もしんどいことはありますが、やりたい気持ちがあれば必ず乗りこ
えられます。



子どもたちとふれあいたい

ちいきふくしそざう
市内の NPO 法人地域福祉創造協会ウインクの
ほうくし かしだ けいた
放課後等デイサービスで働く、保育士の柏田啓太さんは、
子どもたちの笑顔にかこまれて毎日が充実していると話します。

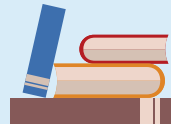
高校生のときから、親せきの小さい子どもたちと遊ぶのが楽しく
て、子どもとかかわる仕事がしたいと思いました。

仕事では、日々、子どもたちの成長するすがたを見るのがうれしい
し、保護者から「いつもありがとう」と言われるのもはげみになります。
ほいくし じよせい だんせい
保育士は女性の仕事と思われがちですが、男性の仲間もふえてい
るし、楽しく働ける仕事です。仕事は外から見る印象だけで決めつけ
ずに、興味をもったらやってみると、おもしろさがわかると思います。





みんなに読んでほしい本



市民交流センターにある、せんなん男女平等参画ルーム
交流スペースにあります。借りることもできます。



ありのままの自分を
好きになって、
すてきな人になろう。



自分らしさって何かを
考えてみよう。



いろんな仕事や働き方が
あることを知ろう。



同じ人はひとりもない。
ちがってあたりまえ。

こまったときには相談しよう

KIDS(キッズ)相談 072-485-1401

K きてや **I** いつでも **D** だれでも **S** 相談できる

月曜日～金曜日 放課後～17時30分
毎月第2土曜日 12時30分～14時30分

上記の時間帯はいつでも相談できます。

場所:市民交流センター内 (一社)泉南市人権協会

24時間子供SOSダイヤル 0120-0-78310

いじめでこまったり、自分や友人の安全に不安が
あったりしたら、いつでも電話で相談できます。

子どもの人権110番 0120-007-110

月曜日～金曜日 午前8時30分～午後5時15分
学校でいじめられている、家の人に暴力をふるわれるな
ど、先生や親に話せないけどなやんでいたら相談しよう。

チャイルドライン 0120-99-7777

毎日 午後4時～午後9時

※LINEなどのインターネット電話からはかけられません。

18歳までの子どもが電話やチャットで相談できま
す。名前や連絡先や学校名は、言わなくてかまいま
せん。話の内容や、チャイルドラインに相談したと
いうことが、あなたの許可なく、家族や学校の先
生、周りの人に知られることはありません。

▶ クイズの答え

どんな答えがうかびましたか。
そのなかに「子どもの母親」という答えはありましたか。
外科医と聞いて「男性」と思っていませんかでしたか。

大人の方は
▶▶

女性のための相談

●面談相談(市民交流センター)

072-480-2855

第1 金曜日 13時～16時 第2 火曜日 17時～20時

第4 金曜日 10時～13時

※予約制。時間はお問合せください。

●電話相談 ※祝日と第5木曜日は除く

072-482-0590

毎週木曜日 10時～12時 13時～15時

ひとりで悩まず、
気軽に相談
してください。